

座談会 アジアの国の語りの現状

聴き手 山本直子 本会会員・東京都小平市

参加者紹介

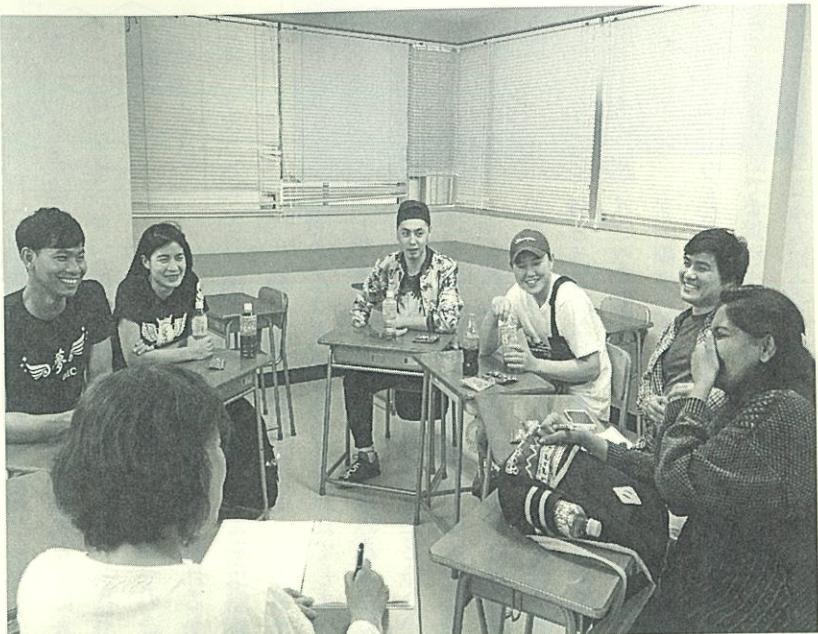
3H日本学校卒業生 現専門学校在籍
二〇一八年度富山紙芝居コンテスト
国際貢献賞受賞者他

はじめに
紙芝居の指導にあたられた礪波さんにうかがいました

ミヤンマー「母の愛」……………ナイン・リーウー
モンゴル「七つの太陽」……………ミヤグマル
ペール「ハエとちょう」……………バトアマル
バングラデイシユ（共同制作）：スハ・ザリン
ミャンマー……………アーラ

指導 磺波由里子 3H日本語学校教師（本会会員）

ひがき順子さんのもとで紙芝居・語りを学ぶ



地域交流イベント「ちば サンタプロジェクト」で、子どもたちに楽しいものを届けるという目的意識をもつて作られたのが一連の紙芝居です。今日は来られませんでしたがベトナムのゴーピエウティエン作成の「黄金とりんご」も受賞作品の一つです。

それぞれの国でだれもが知っている物語

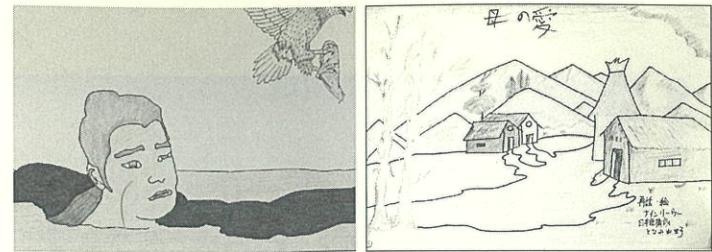
今日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

この度は国際貢献賞ご受賞おめでとうございます。
みなさんのそれぞれのお国のお話をうかがいたいと思います。

みなさんが、母国の物語を紙芝居にと思った時、すぐに思い浮かぶ物語があつたのでしょうか。
それぞれの作品が母国でどのような存在の物語なのか教えてください。

2019年5月31日
千葉市中央区新千葉
3H日本語学校の教室

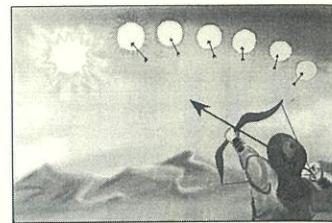
「母の愛 どこにもないもの」あらすじ



母の愛

夫が亡くなつて食べ物も手に入らなくなつたお母さんが、赤ちゃんを連れて実家に行く途中のこと。橋のない大きな川が渡れるか深さを探るため赤ちゃんを川岸に残して母親が川に入ると、赤ちゃんは大きな鳥にさらわれてしましました。誰もがあきらめるように止める中、誰も登つたことのない高い山を登つて傷だらけになり、赤ちゃんの泣き声に乳があふれる中、やつとのことで赤ちゃんの元にたどり着き抱きしめることができました。

ナイン・リーウー 「母の愛」はミャンマーでは誰もが知つてお話をアーラさんも知つてた?



「もしできなかつたら弓を射るのに大切な親指を切り落とし、水も飲まず草も食べず穴の中に暮らす動物になる」と言って太陽を打ち落とし始める。六つ打ち落としたあと、七つ目の太陽めがけて矢を射ると、太陽を隠すように横切った燕の尾が二つに切れる。それを見た太陽が慌てて西の山に姿を隠す。七つの太陽を射たが、どうしてモングルにしかいない四本指のタルバガ(マー・モット)がいるのか、なぜ太陽は西に沈むのか……、

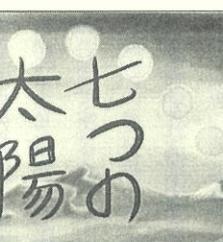
山本 モンゴルの「七つの太陽」も誰もが知つてお話をだそうですね。

バトアマル はい、モンゴルの人ならだれでも知つていまます。太陽がなぜ一つになつたか、なぜ燕の尾が二つに割れたか、どうしてモングルにしかいない四本指のタルバガ(マー・モット)がいるのか、なぜ太陽は西に沈むのか……、

アーラ はい。

山本 それはお家で、お母さんやお父さん、おじいちゃんおばあちゃんなどが、子どもたちに語つてくれたのでしょうか?

ナイン・リーウー はい。子どもたちを寝かしつけるとき、ミャンマーではおはなしをして寝かせているので、どこの家でも語られるおはなしの一つだと思います。学校でもこうしたおはなしは語られ、母や父の愛の深さは特別で、だから父や母を大切にしなくてはいけないと教えられます。その他にも人を信じることの大切さや、正しいこと、いけないことを紙芝居のように見せて教えることがあります。



「七つの太陽」あらすじ

昔、太陽は空に七つ輝いていて草は枯れ、のどが渴いてしかたなかつた。弓の名人のエルヒー・メルゲンは自分が弓で七つの太陽を打ち落として見せるというが、誰も信じないので、



「ハエとちょう」あらすじ

ハエと蝶がお寺の庭で友だちになり、ある時ハエの家に招かれた蝶はあまりの汚さに気分が悪くなつてすぐに帰つてしまふ。蝶が今度はハエを家に招くと、ハエはあまりの美しさに驚



ネパール・バングラディッシュ

ます。みなさんのお国では、それぞれのお家で、例えば宗教的な物語やそれに基づく習慣・風習みたいなものが身近にあったのでしょうか。ナインさんの家は宗教は？

ナイン・リーウー 仏教です。だから、家で仏陀の話も聞きます。学校でも毎週仏教の時間があります。

食事を作ると、まず、仏様にそれを差し上げてお祈りしてから、家族で食べます。

でもそうした仮教のこととは別に、ミャンマー

では山にも空にも海にも神さまがいると考えられています。

お祭りの時には川に食べ物を入れた箱を浮かべて流します。海にも神さまがいるからです。

山本 神さま？ 海の向こうにある極楽浄土のご先祖様に向けての日本の精霊流しとは違う？

ナイン・リーウー 神さまが海にも空にもいる。空にはランタンをあげる。

由里子 死んだおじいちゃんおばあちゃんではない？

ナイン・リーウー 神さま。人ではない。

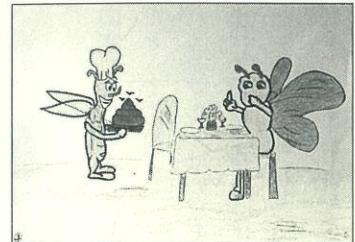
アーラ ミャンマーでは山にも海にも湖にも神さまの建物が作ってあります。

山本 日本の多神教に近いのですね。

デイリップ 日本にはトイレにも神さまいるつて。

山本 そうそう、よくご存じですね。ミャンマーにはいろいろなものに神さまが宿っているという民間信仰が仏教とは別にあるということですね。

ナイン 仏教の本では、空に棲んでいる神さまは意思や念願を見ている、海に棲んでいる神さまは命を見ている、土に棲んでいる神さまは死をしている、と。



く。お腹いっぱい美味しい料理を食べた二人は花の上で眠ってしまう。翌日、御坊様が花を神さまにお供えし、目を覚ましたハエは涙を流す。蝶が涙のわけをたずねると、「ハエとしか友だちにならなかつたら神さまの元に来ることなどなかつた。うれし涙です。蝶さんあなたのおかげです。ありがとうございました。二人はそれからもずっと仲良しでした。

グレン・デイリップ いえ、これは、子どものころ学校の先生が話して聞かせてくれたおはなしですが、ネパールで有名な話というわけではありません。家で聴いた話で特に覚えているものはないですが、ネパールの誰もが知っている話としては「金の鹿」のような話。いっぱいある。

山本 それはラーマーヤナとかマハーバーラタのようなものでしそうか

グレン・デイリップ はい。ヒンドゥー教のバイブルのよ

うなものです。

山本 デイリップさんはヒンドゥー教徒ですか？

グレン・デイリップ はい。私の家はヒンドゥー教徒です。ラーマーヤナの世界は、ずっと昔の本当にあつた話としてみんなが知っています。

山本 バンガラディシユではいかがですか？ 何かみんなが知っているお話を聞いて育ちましたか？

ザリン 赤ずきんとかウサギと亀とか。

山本 ザリンさんが聴いて育ったのは、ヨーロッパのグリム童話のようなお話ですね。

由里子 ザリンさんはダッカ出身なので都会だから少し田舎のほうとは違う環境かもしませんね。

山本 日本では今、家で子どもにおかあさんがおはなしをしてあげるという機会が少なくなっています。テレビやビデオで見たり、絵本を読んであげることはあっても、昔話を語つて聞かせるということはほとんどなくなってきたい

身边にあつたおはなしを聞く機会

デイリップ ネパールとミャンマーは似ています。私たち
は、信じること、良しあしを語り伝えられます。ヒン
ドゥーの三大神、世界を創ったブラフマー、生き物をつか
さどるビシュヌ、悪を裁く力のあるシバをはじめ数えきれ
ないほどの神々のことを誰もが知っています。

ミャンマーの数えきれないくらいたくさんの神様はもと
もとはヒンドゥーの神様。一つの神様が姿を変えることも
ある。

山本 古くからの在来の多神教の教えや風習が今も残つて
いるのですね。日本では仏教徒の家でも仏陀の話をすると
いうことはほとんどないんです。それに一つの家の中に仏
壇と神棚が両方あつたりする（笑）。

由里子 アーラさんはクリスチャンですよね？

アーラ はい、私の家はクリスチャンです。食事の前には
神さまにお祈りをしてからいただきます。神さまへの祈り
は毎日の生活の中にあるし、神様のお話はいろいろな機会
に聞くことがあります。学校はミャンマーのパブリックス
クールでしたが、私の通っていた学校では仏教の時間はあ
りませんでした。

た。今は違います。

山本 氷点下何十度の時はゲルの中でお話を聞いて過ごす
ようなことも？

バトアマル／ミヤグマル はい、みんなゲルの中で楽しい話
をしながら過ごします。

山本 モンゴルの男

性はみんな馬に乗る
のですか？

バトアマル みんな
乗ります。男で馬に
乗りたがらないと変
に思われる。

山本 今はゲルの生
活ではないけれど馬
に乗る機会はあるの
ですね？

バトアマル 夏休
みとか親戚のゲル

ミャンマー
山本 本は手に入りますか？

山本 同じミャンマーでも学校により違うのですね。お祭り
をうかがつていて、少しドキッとします。日本では、家庭
にもよりますが、ほとんどの家で食事の前に神さまに祈つ
たり仏様に毎朝食事を備えたりということはしていないと
思います。人知の及ばないものを大切にするという習慣がつ
なくなってきてます。みなさんのお国のお話をうかがつ
ていると、今も生活の中の身近なところに人の力が及ばない
神さまや仏様がいらっしゃるということですね。モンゴル
ではどんな感じですか？

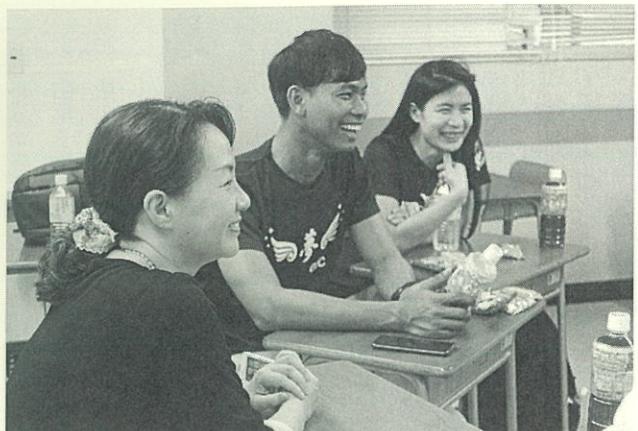
ミヤグマル 朝起きると奥さんが暖かいミルクティーを作
り、まず空に向かつてそのミルクティーを撒きます。それ
は仏様に撒いています。

山本 日本人はモンゴルというとゲル（テント）で暮らし
ているようなイメージを持つてしまうのですが、お二人は
どんな風に育つのですか？

バトアマル 僕は六歳くらいまではゲルで生活していました。
ゲルの中は冬はとても暖かいし夏は涼しい。今は親が
遊牧の仕事ではないので建物の中で暮らしています。

ミヤグマル 僕も十歳くらいまでゲルで生活していました

山本 同じミャンマーでも学校により違うのですね。お祭り
をうかがつていて、少しドキッとします。日本では、家庭
にもよりますが、ほとんどの家で食事の前に神さまに祈つ
たり仏様に毎朝食事を備えたりといふことはしていないと
思います。人知の及ばないものを大切にするという習慣がつ
なくなっています。みなさんのお国のお話をうかがつ
ていると、今も生活の中の身近なところに人の力が及ばない
神さまや仏様がいらっしゃるということですね。モンゴル
ではどんな感じですか？



ミャンマー

めるからみんな本を買いません。

由里子 でも、小さい子どもはどうしていますか？ 絵も見えるのかしら？

バトアマル

日本人が漫画をネットで読むようにみんなネットで読んでいます。中学生はほとんど携帯を持ってい

るし。

由里子 もう少し小さい子は？

バトアマル 小さい子はお話を聞く。話してあげる。おか

あさんがお話をしたり絵本を見せたりネットも聽ける。

山本 お母さんたちが小さい子どもたちに語るお話は昔からのお話が変わってないということですね。日本はかなり変わってしまっていります。ディズニーもグリムとはかなり変わってしまっているのに對し、みなさんのおはなしをうかがっていると、それぞれのお国の物語を大切にして語り継いでいるのが感じられます。

アーラ ミャンマーでは小さい子は学校でもらえる本は持っているけれど、家に本が買えるのはお金のある家だけですから。

山本 文字の読めない人は身の回りにいましたか？



モンゴル

ない。戦争で学校がなくなつたままのところもあるし。
山本 うかがいづらいですが、ロヒンギャの方たちは？
ナイン・リーウー ほとんど学校には来れていないと想
います。

山本 バングラ
ディシユはいかが
ですか？

ザリン 経済的に
学校には行けない
子はいるし、文字
の読めない人もい
ます。

子育て事情

由里子 赤ちゃん
はいつもごろまで
おっぱいを飲んで
いますか？

ナイン・リーウー ミャンマーでは二歳か三歳くらいまでは飲んでいます。

バトアマル 五歳くらいまで飲んでいる子もいる。

グルン・ディリップ ネパールもお母さんのおっぱいが出なくなるまで飲ませる。そうしないとおっぱいが残ると瘤になるとかで。

由里子 日本だと五歳の子がおっぱい飲んでもらみなん
びっくりしてしまうけれど、別に何とも思わないわけね？

皆 別に当たり前のことだと思います。

アーラ 中学生までいつしょでした。

した。

山本 モンゴルのゲルは一部屋だから、みんな一緒ですよ
ね？

ミヤグマル でもベッドはあるので、わりと早く一人で寝
るようになります。

山本 みなさんはたくさんお話を聴いて育つているという

皆 いっぱいいます。

バトアマル 読めない人もいますが、モンゴルは今は学校に行けるので若い人はほとんどの人が読めます。前の世代も読みます。

グルン・デイリップ ネパールも学校には行けることになつているけれど貧しいと行かない。半分くらいの人は読める。民族がいろいろなので、学校に行かないとその民族の言葉しか通じない。

ナイン・リーウー 学校に行けない人は部族の言葉しか知らない。ミャンマーはまだ学校のないところもあります。お金持ちと貧しい人でもかなり違いがあります。お金持ちは私立の学校で英語の教育を受けて大学にも進みます。お金がない家の子どもは公立の学校でミャンマーの言葉で勉強を教わることができます。ただ、少し大きくなると、仕事を手伝うようになり、学校に来なくなる子どもがいます。それは自分で決めるので。全く読めない子は少ないと

思います。まだ読めない人もいます。本も売っていますが、買える人は限られます。図書館はあっても利用できる人は恵まれた人です。一〇パーセントくらいは学校にいけ

ことですが、ご自身のアイデンティティーというか、自分の國の人間であるとか、こういうふうに生きなくては、こういうことを大切にしなくてはいけないな、という指針のようなものを、みなさんが聴いた昔話、例えば紙芝居にしましたお話をなどからもらつたなあと感じることはありますか？

ナイン・リーウー 母の愛のような話を聴いて育ち、学校に行くようになると母や父の大切さを教えられ、両親は何よりも大切にしなければいけないと感じるようになります。

ミヤグマル この「七つの太陽」には実はほかにも日本語にするのがむずかしい、モンゴル人ならわかることが入っています。この紙芝居では、自信を持つのはだいじだけれどそれが過ぎることは良いことではないと感じます。

ディリップ・ネパールではインドのマハーバーラタのたくさんの方語のチャプターからとつていろいろ教わります。心に残っていること……どこからはじめたらいいか……。いっぱい生活のためになることが物語に入つていて本当のこと、昔の神様の世界の物語。バイブルのようなものでみんなが読みます。僕が子どものころはネパール

の人は昔はほとんどヒンドゥー教徒でした。最近なぜかわからぬけれど変わった人が出てきている。

山本 モンゴルではみんな誰もが聞く話はほかにもありますか？

バトアマル あるけれどすぐに出でこない。

山本 モンゴルの方はほとんどが仏教徒ですか？

バトアマル ほとんど仏教。

由里子 子どものころおじいちゃんおばあちゃんから仏教の話を聴いたことはありますか？

バトアマル あります。でも日本語にするのはむずかしい。

紙芝居を作つてみて感じたこと 物語の魂

山本 物語には魂というか大切なものがあると思いますが、紙芝居にするとき意識して作りましたか？ 読んであげるとき意識して読みましたか？

皆 意識しました。

ミヤグマル 太陽が一つになつた理由、モンゴルにしかない動物が生まれた理由など謂れとしておもしろいことは

かに、本当は、もう一つ伝えたいことがあつたけれどモン

ゴルの人には分かつても日本人（外国人）には伝えるのがむずかしい。動物のことも、人として大切なことについても、外国人に伝えるには細かくて詳しくてむずかしい話がある。

その国で誰もが知つていて

誰もが語れるお話をについて

ナイン はい。みんなが知つている話です。

山本 今、日本のお父さんお母さんはお話を語れない人が多いです。

由里子 みなさんは覚えている話を子どもに語れるのですね。

皆 できます。語れます。

バトアマル いいことは伝えたい。そんなにむずかしくはない。日本人は忙しい。残つてている文化が多くないよう思つう。

山本 たしかに、日本は文化を継承するのが特別な人になつてきていているかもしませんね。ゼロではなく、お正月やお雛様、五月のお節句、など、各家庭でも文化継承をしているものもあるとは思いますが。

由里子 「母の愛」の紙芝居を見て、（創作にはかかわらなかつた）アーラさんは、すぐ「あの話だ」とわかつたのね。アーラ はい。

ナイン あと、ミヤンマーにある高い山の話も有名で、ヒマオダ山が何故あるかといふと、山で分けられた四か所に棲む人々の顔が地域により違つて三角だつたり、丸だつたりして、たがいを見ておかしくて笑いすぎて死んでしまうので神さまが山を置いて分けたと言われている。

由里子 それは本当に山についてのみんなが知つていいお話をなのですね？

言葉に心を込めて、伝えたいと思つてお話を語ると、ちゃんと相手の心に届く。語るといふことは、読むのとは別の大切な意味があると思つています。みなさんが、お母さんに、「幸せになるんだよ」とたくさん抱かれて、お話を聴きながら育つたことはとても素晴らしいことだと思います。本もネットも素敵だけれど、きちんと言葉

で伝えることも大切にしていっていただけだと嬉しく思っています。

山本

日本のおはなしは聞きましたか？

皆

「千葉笑い」

山本

どんなおはなし？

由里子

私が再話して紙芝居にした千葉の本当にあつた話。位の高い人の悪口なんて言えなかつた時代に、大晦日だけ悪口を言つていいことになつてゐる千葉神社に仮面をつけてみんな出かけて、不平不満を吐き出し、最後に大笑

いして新しい年を元気に過ごそうという物語。四か国語の紙芝居にして見せたのでみんな知つてゐる。

山本 なるほど。とてもおもしろいおはなしだけれど、自分が日本の国と日本の違いを聴きたいという場合ちょっと特殊だつたかな。桃太郎とか聴いたことがありますか？

由里子 桃から生まれた子どもがおじいさんおばあさんに育てられ大きくなつて鬼退治をする話。

ミヤグマル モンゴルは空から降りてきた赤ちゃんが三か月で大きくなつて鬼退治をする。

由里子 その鬼はどんな鬼？

バトアマル モンゴルの鬼は頭が十五ある。

グルン・ディリップ インドにはラーマーヤナの中に同じようなたくさん頭のある鬼を弓で退治するお話があつて、お祭りなどで演じられます。

ナイン・リーウー ミヤンマーでは、カボチャから女の子が生まれてお坊さんが指から出る乳で育てて、その女の子が空の世界の人と愛し合つて神さまを生むというお話がある。

バトアマル 別の話ですが、モンゴルの十二支の話で、なぜ不ズミが一番初めなのかという話があります。

山本 日本では足が遅いからと早めに出かけた牛の頭に乗つて不ズミはらくらく神さまの元に行き、いよいよ決めるというとき不ズミは牛から飛び降りて「一番は自分です」と言つたという話がありますが。

バトアマル モンゴルでは、後ろから決めていくつて、最後に不ズミとラクダ（キヤメル）が残り、明日の太陽を最初

に見た動物になると決まり、ネズミは東を見て、ラクダは西を見ていたためネズミが一番になつたという物語です。

日本と同じ十二支だけれど、もしかしたらネズミではなくラクダから始まつていたかも知れない。

由里子 ラクダじゃ日本人はわからなかつたかも知れないね。

山本 母の愛を伝える日本のおはなしは、例えば「飴買い幽霊」みたいなのがあります。（簡単に語つて紹介）

ディリップ その話、ネパールの十一年生クラスで英語のテキストにそつくりの話が載つていた。どこの国の話かは分からぬ。キンデーも出てきた。

ナイン・リーウー ミヤンマーでも死んだ人にお金を入れてあげる。それがないと次の世界に行けないから。ミヤンマーでは火葬や土葬のほかに、そのまま海の近くの棚に置いて太陽に当たつてミイラになるのを待つてお墓に葬るやり方もある。ミイラになる姿をみんなが見る。誰にも死がやつてくるという未来の自分を知つて、今の自分を考える意味がある。そういうお弔いもある。お墓は山奥の決まつている場所に埋葬する。日本みたいにあちこちにない。

ディリップ ネパールにも土葬も火葬もある。特別な服を着せる。

山本 日本は今は基本火葬で、島など火葬場がないところだけ土葬です。糸止めをしないかたびらを着せます。惡靈に袖をつかましても糸が止まつていないので袖だけ取れて連れてゆかれずにすると言わわれています。

チベットには鳥葬で空にという風習もありますね。怖い気もしますが、死者の来世を思い描き幸せを祈る儀式なのでしょうね。

言い伝えのお話から宗教や儀式までたくさんのお話をうかがいました。日本のお話と似ている物語や物語に出てくる風習、言い伝えなど、研究したらおもしろそうなお話をたくさんうかがうことができました。ありがとうございました。

これからも日本語の学びを深めてご活躍されますようお願いいたします。

（やまと・なおこ）